地球の歩き方
GLOBE-TROTTER TRAVEL GUIDEBOOK www.arukikata.co.jp
Special Edition

沖縄美ら海水族館の歩き方

Okinawa Churaumi Aquarium

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium

New

飼育員が解説

沖縄の美ら海を次の世代へ!

世界初・世界一がここにある

Gakken

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium

沖縄美ら海水族館 統括
佐藤圭一

「世界最先端の水族館として」

「沖縄美ら海水族館は、沖縄の海を丸ごと楽しめる“海の博物館”です。普通水族館というと世界中から生物を集めてきますが、ここで展示しているのは沖縄の生物だけ。それが、沖縄の海の生物多様性を物語っています。水族館では約780種、13,000点もの生物を飼育していて、ジンベエザメやマンタをはじめ世界的に貴重な種も多くいます。これらの希少種を保全していくのも、我々の大切な使命。研究者、飼育員が一体となって研究し繁殖させているのは、こうした動物たちの保全が目的です。展示されている生物だけでなく、私たちの活動にも注目して、水族館を楽しんでください。新たな魅力を発見できるはずです」

Contents

基本情報 …… p.3

沖縄美ら海水族館
サンゴ礁から深海への旅 …… p.4

知ればもっと楽しい!
沖縄美ら海水族館の挑戦 …… p.6

愛あふれる解説がいっぱい!
飼育員に聞く! フロア案内 …… p.10
- 3階～2階 サンゴ礁への旅 …… p.10
- 2階～1階 黒潮への旅 …… p.12
- 1階 深海への旅 …… p.14
- 屋外展示 …… p.18

水族館の秘密がかいま見えるツアー
裏側まるごとウォッチング …… p.16

飼育員さんに直撃!
教えて! あなたの“推し”FISH …… p.17

Churaumi Times
沖縄美ら海水族館の普及啓発活動・研究活動 …… p.20

お得がいっぱい!
沖縄美ら海水族館の年間パスポート …… p.22

ジンベエザメやマンタの前で永遠の愛を誓う
沖縄美ら海ウェディング …… p.23

基本情報 General Information

基本情報

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium

ロ　ゴ
青い長方形の下に水族館名の入るシンプルなデザイン。青は水族館の象徴でもあるジンベエザメが泳ぐ「黒潮の海」の大水槽をイメージ。縦横の比率も水槽のアクリルパネルと同じになっている。

正式名
沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium

施　設
建築面積：約1万㎡
延床面積：約1万9000㎡
水槽規模：総水量約1万㎥
最大水槽：7500㎥（黒潮の海）
総展示水槽数：75槽

代　表
佐藤圭一（統括）

展示コンセプト
「沖縄の海を再現する」というコンセプトのもと、周辺の海に生息する生物たちを展示する水族館。また生物と種の保全や調査研究も行い、数々の研究業績がある世界でも最先端の水族館だ。

設　立
2002年11月
1975年の沖縄国際海洋博覧会の開催にあたり建設された、日本政府出展海洋生物園が前身。半年間の会期終了後、国営沖縄記念公園水族館となって継続されたが、2002年8月に老朽化のため閉館。それに伴い、隣地で新水族館が建設され、同年11月に「沖縄美ら海水族館」としてリニューアルした。

営業時間と電話番号

営業時間
8:30～18:30
※最終入館は閉館1時間前
※延長期は公式HP参照

休館日
最新情報は公式HPに掲載。

電話番号
0980-48-3748

URL：https://churaumi.okinawa

住所とアクセス

住　所
沖縄県国頭郡本部町字石川424

アクセス
沖縄美ら海水族館があるのは沖縄本島北部、本部町にある海洋博公園内。那覇空港からは高速道路を使用して車で約2時間。ほか、高速バスや路線バスでもアクセスできる。

その他

海洋博公園 OCEAN EXPO PARK 沖縄美ら海水族館

沖縄美ら海水族館公式アプリ「美ら海アプリ」
水族館の公式アプリでは、施設情報や飼育している生物の情報をゲットできる!アプリ内の「かざすAI図鑑」では、スマートフォンを水槽の生物にかざすだけで生物名と解説が表示される。認識した生物は自動でアプリ内に記録され、自分だけの「美ら海図鑑」を作ることもできる。

受賞・記録

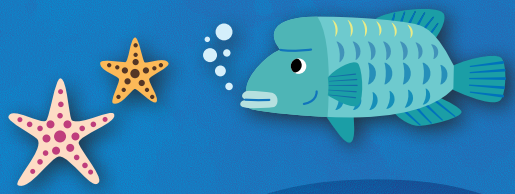
古賀賞：2回　ネムリブカの水槽内2世代繁殖（1987年）、ウミガメ繁殖研究活動（2023年）
繁殖賞：45種類（ナンヨウマンタやミナミバンドウイルカなど）
※古賀賞とは…希少動物の繁殖に特に功績のあった動物園や水族館に対して贈られる、国内最高の賞。繁殖が難しく世界的にも例の少ない種の保全に大きな貢献が認められた場合に与えられる

沖縄美ら海水族館
サンゴ礁から深海への旅

海を望む丘の段差を利用し、3階の入口から、1階の出口に進むに従って、サンゴ礁に囲まれた浅い海、サンゴの海、熱帯魚の海、黒潮の海、そして深海へと、沖縄の海をだんだん深く潜っていくような造りになっている。

沖縄の生物だけを飼育・展示

館内で飼育している生物はすべて周辺の海に生息。地元の漁師さんの協力のもと、採集も自分たちで行っている。



サンゴ礁への旅

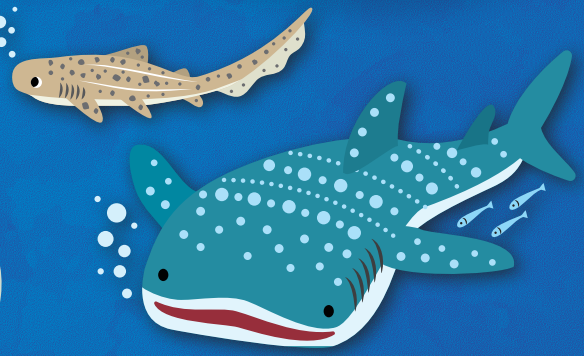
3階〜2階

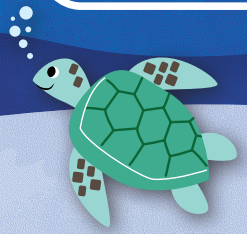
海人門（ウミンチュゲート）を通りエスカレーターで下りた先が入口。最初に辿り着くのが、「サンゴ礁への旅」エリア。沖縄の周辺を取り囲むサンゴ礁の海を再現しており、サンゴや熱帯魚の泳ぐ水槽は水族館でも屈指の美しさ。

黒潮への旅

2階〜1階

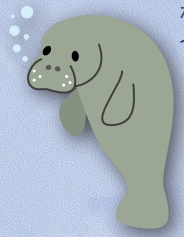
水族館で最も大きな「黒潮の海」水槽がある。水槽にはジンベエザメやマンタが悠々と泳いでいる。サメの生態についての解説をしている「サメ博士の部屋」もあり、ただ“見る”だけではなく、知識欲を満たすこともできる。

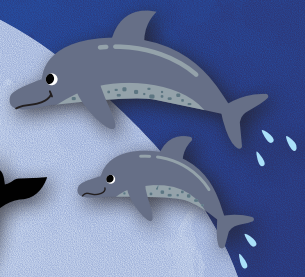




屋外施設

水族館から外に出て、海辺に向かって歩くと屋外施設に着く。マナティー館、ウミガメ館、イルカ施設があり、イルカラグーン横のオキちゃん劇場では毎日イルカショーを開催している。





深海への旅

1階

水深 200m 以深の深海を再現したエリア。水族館内は先に進むに従い、徐々に照明が暗くなっていく。深海エリアは館内で最も暗いが、その分水槽の光が浮き上がり幻想的。世界初やここだけというレアな生物がたくさん。

知ればもっと楽しい！

沖縄美ら海水族館の挑戦

世界最長、初、唯一など、たくさんの記録をもつ沖縄美ら海水族館。輝かしい記録は、飼育員や研究者たちの日々の努力により成し遂げられている。数ある記録のなかでも特に人気のある3種類の生物にフォーカスして、挑戦の功績を取り上げる。

自然界では立ち泳ぎをしながら水面の餌を食べる。水族館の餌やりの時間でも同様の姿が見られる

ジンベエザメ

成長すると約13mにもなる、世界最大の魚類。大型だが、プランクトンやオキアミなどの小さな餌を食べる大人しいサメ。沖縄本島周辺だと5～6月頃に目撃情報が多い

世界一

ジンベエザメの世界最長飼育記録を更新中！

2025年で飼育開始から30年となるのが、「黒潮の海」水槽を泳ぐジンベエザメの「ジンタ」。このジンベエザメの飼育期間は世界最長となる。飼育開始時は全長4.6mだったが、約2倍に成長している。

長期飼育のヒミツ

30年前は、世界でもジンベエザメの飼育経験がなく、すべてが未知の世界。日々試行錯誤を繰り返し飼育し続けることにより、餌の種類や飼育方法、成長の仕方などが分かってきたそう。寿命は100～130年と推測されるが、今後ジンタの飼育記録とともに新たな知見などが明らかになってきそうだ。

Staff Voice 沖縄美ら海水族館では、飼育展示を通じた調査研究活動が盛んです。2020年にはジンベエザメの眼の周りをうろこが覆っており、眼を保護する役目があることを発見しました。

Staff Voice 沖縄美ら海水族館の海水は直接目の前の海から引いています。季節による水温変動でジンベエザメの行動が変わることがわかりました。

ミナミバンドウイルカ（オキちゃん）

1975年に開催された沖縄国際海洋博覧会当時やってきたメスのミナミバンドウイルカ。お腹にある黒い斑点が特徴。歳により斑点の数が増えるとされ、オキちゃんは数え切れないほどたくさん！

世界一

長期飼育のイルカたち

水族館では４種類のイルカを飼育。うちミナミバンドウイルカのオキちゃんムク、オキゴンドウのゴンちゃんは、いずれも飼育記録が世界最長。オキちゃんとムクはなんと50年飼育していて、展示も国内では唯一。

＼長期飼育のヒミツ／

長寿の秘訣は「よく食べてよく動くこと」。オキちゃんやムクは一日に約８～9kgの餌を食べています。体の大きなゴンちゃんはなんと20kg以上食べることもあります。イルカショーでしっかりと体を動かすことも大切です。トレーナーは小さな体調の変化を見逃さないようにイルカたちの様子を注意深く観察しています。

オキゴンドウ（ゴンちゃん）

2025年で飼育42年のメスのオキゴンドウ。30年以上もイルカショーに出続ける大ベテランで、豪快なジャンプは大迫力！

ミナミバンドウイルカ（ムク）

オキちゃんとともにやってきた、オスのミナミバンドウイルカ。飼育年数はオキちゃんと並び、本種のなかでは世界最長。人なつこい性格で、体験プログラムなどで活躍中。

Staff Voice　イルカの体温測定を毎朝実施して健康管理を行っています。イルカは哺乳類で平熱も人と近い35～6度なんです。

全長6mにもなる、世界最大のエイ、オニイトマキエイ。沿岸に棲むナンヨウマンタと違い外洋性で、口周辺の色、背中の模様、鱗や歯の並び方などに違いがある

2019年に、これまで長距離輸送が難しかったヒメイトマキエイの展示に世界で初めて成功。今後は繁殖行動など謎の多い本種の生態解明を目指す

イトマキエイ類４種類の同時展示

「黒潮の海」水槽ではオニイトマキエイとナンヨウマンタに加え、イトマキエイ、ヒメイトマキエイを飼育。オニイトマキエイとヒメイトマキエイは日本唯一の展示。ナンヨウマンタの黒化個体・通称「ブラックマンタ」がいるのもここだけ。

イトマキエイ類

頭部の両側に「糸巻き」のようなヒレがあることが特徴。大型のオニイトマキエイとナンヨウマンタは通称「マンタ」と呼ばれる。イトマキエイは最大でも体の幅が3mほどで、ヒメイトマキエイは最大でも2mほどとマンタよりも小さい

世界初

＼飼育下での繁殖成功／

沖縄美ら海水族館では、2007年にナンヨウマンタの世界初となる出産に成功。最近では2024年にブラックマンタが出産。母親と同じブラックマンタが生まれたことに飼育員も驚いたそう。

出産直後の親マンタと仔マンタ

Staff Voice　ナンヨウマンタの妊娠期間は約１年で、胎仔は子宮のなかでミルクをもらって成長します。出産時の仔マンタの大きさは平均1.8mにもなります。

愛あふれる解説がいっぱい！

飼育員に聞く！フロア案内

普段から海洋生物のお世話をしている飼育員さんたちに、館内の見どころや生物についての話を聞きました。研究者としての顔も持つ飼育員さんたちの愛あふれる解説はこちら！

3階～2階 サンゴ礁への旅

沖縄で「イノー」と呼ばれる浅い海を再現した「イノーの生き物たち」、造礁サンゴをメインに展示した「サンゴの海」、カラフルな魚が泳ぐ「熱帯魚の海」など、沖縄のサンゴ礁周辺に棲む生物を間近に観察できるエリア。

まるで沖縄の海に潜っているような風景が広がる

心がおだやかになる
色とりどりのサンゴたち

❶サンゴの海

ハード系からソフトコーラルまでさまざま

湾曲した大水槽で、約80種のサンゴを飼育している「サンゴの海」。サンゴは小さな生物（ポリプ）が集まってひとつの群体となるが、ここでは約420の群体が見られる。屋根がなく、常に新鮮な海水を供給するオープンシステムの水槽となっている。水面から自然の光が降り注ぎ、時間帯によりさまざまな姿を見せてくれる。4Fのウミンチュゲートからは水槽を上から見ることができる。

熱帯魚も自然のままの姿を見せてくれる

永田さん

自然の海そのものの姿を見せることにこだわっています。サンゴは、自然の海を参考にして配置する場所を決めています。ここにあるサンゴの多くは水族館で繁殖させています。23年連続で産卵に成功していて、2020年からは光を調節して昼間に産卵させることでお客様にもサンゴの産卵を間近でご覧いただけるようになりました。

Staff Voice サンゴの繁殖には、有性で増える方法と、ポリプが分裂して無性的に増える方法の2つがあります。いわゆる産卵は有性の方法で、卵が受精するとプラヌラ幼生という赤ちゃんになります。

私たちが解説します！

永田 史彦さん
サンゴの海担当。元はダイバーで、海に関わる仕事がしたいと水族館へ。今も潜って自然のサンゴを研究。

和仁屋 樹さん
熱帯魚の海担当。水族館に勤めて3年目。趣味は釣りで、ブダイなどの魚を釣っているそう。

永田 真由さん　高瀬 爽さん
ふたりとも個水槽を担当。永田さんは3年目で、ダイビングなど海遊び好き。高瀬さんは2024年入社のルーキー。

東地 拓生さん
海草や海藻を担当している。勤続20年、長年深海を担当していたが、異動。サンゴや海藻の魅力に惹かれる。

榎 南都子さん
入社以来サンゴ礁への旅を担当。コブシメは卵の時から面倒を見て、成長の様子を記録。今ではお母さん気分。

ぜ～んぶ沖縄の魚！

ヨスジフエダイ
黄色の体に縞模様。サンゴ礁に生息

カクレクマノミ
イソギンチャクを住処としている

ナンヨウハギ
鮮やかな青い体と黄色い尾ビレが特徴

ツノダシ
長く伸びた背ビレと平べったい体が特徴

イロブダイ
沖縄を象徴する魚であるブダイのなかでも特にカラフル

メガネモチノウオ
通称「ナポレオンフィッシュ」。ベラの仲間の最大種

❷熱帯魚の海

沖縄のサンゴ礁を再現

サンゴ礁と、そこに生息する熱帯魚が見られる「熱帯魚の海」。展示している生物は約180種類で、注目はカラフルなフエダイ類の群れ。

和仁屋さん

魚とその環境に注目です。水槽は奥に行くほど深くなり、洞窟など地形も複雑になります。水深・地形により見られる魚も変わります。

❸サンゴ礁への旅 個水槽

生物たちの個性が光る☆

サンゴ礁に生息する小さな生物をテーマごとに大小30の水槽で展示している。時期により展示が変わるので、行くたび新たな発見が。

上／さまざまなテーマの展示がされている　右／個水槽は小さな生物たちが主役だ

永田さん

個水槽のテーマや展示生物は飼育員たちが個々で決めています。企画、生物採集、配置まで自分で行うので、こだわりが詰まっているんです。

高瀬さん

水族館の人気者、チンアナゴとニシキアナゴ

スタッフさんの裏話

循環型の水槽作り

ここでは、さまざまな生き物が暮らしている海草藻場の環境を再現している。コブシメが残した餌をヒトデや魚が分解し、魚の糞などは海草類の栄養分となるという「循環スタイル」が成り立っている。

東地さん

海草って、小さな花が咲くんです。シーズンは12月頃。見られたらラッキーですよ

コブシメの繁殖・成長の様子

水族館で飼育しているコブシメは、2024年に水族館で生まれた。最初は「イノーの生き物たち」で卵から展示を開始し、成長とともに水槽を移動。現在は個水槽で展示している。今後も繁殖を続けることを目指す。

コブシメの餌はエビなどの甲殻類。1日4～5回も餌やりしています

榎さん

Staff Voice「熱帯魚の海」では、魚の種類や大きさによりあげる餌の大きさや量、場所などを細かく調整しています。餌やりの時間もあるので、ぜひ時間を合わせて来てください。

2階〜1階 黒潮への旅

沖縄の沖合を流れる黒潮を泳ぐ回遊魚たちを展示するエリア。ジンベエザメやマンタの泳ぐ「黒潮の海」水槽をメインに、周辺にも興味深いエリアが点在。

私が解説します！

岡本 情さん

「黒潮への旅」全体担当。ジンベエザメやマンタへの餌やりから採集まで、あらゆる業務を行う

熱帯の海に多く生息しているネムリブカ

希少なシノノメサカタザメ。サメと名前がついているが、実はエイの仲間

さまざまなサメの顎の標本を展示。なかにはジンベエザメのものも

標本や資料でサメについて学べる

❶サメ博士の部屋

水槽に展示されている約8種類のサメ・エイ類のなかでも、レッドリストで絶滅危惧種に指定され保全が急務と言われるシノノメサカタザメは水族館生まれ。サメやエイの仲間の繁殖成功は世界でも注目されています。ほかにも沖縄美ら海水族館でしか見られない、サメやエイの仲間が多く展示されています。

めったに見られないサメの卵なども展示

岡本さん

約８種類のサメなどが泳ぐ水槽と、サメの生態をさまざまな角度から解説する展示がある。展示物の多さは水族館内でも屈指で、サメの専門家である佐藤博士をはじめ研究者や飼育員さんたちの長年の研究の賜物といえる。サメに関してじっくり学べば、「人を襲う恐ろしい生き物」と思いがちなサメのイメージが変わるかも!? 沖縄美ら海水族館が開発した世界初のサメの人工子宮装置の実物も見られる。

獰猛なイメージのサメだが、大部分は大人しい

Staff Voice 水槽以外にも、サメの顎の標本の展示があるコーナーも見て欲しいです。実物の顎が展示されていて、種類により歯の大きさや生え方もさまざまなのが見てとれます。

餌やりでは、水中にある餌を効率的に食べるためにマンタがぐるりと回転する姿が見られる

ジンベエザメやマンタの泳ぐ国内屈指の巨大水槽

沖縄美ら海水族館の目玉展示のひとつ

❷黒潮の海

ジンベエザメに目を奪われがちですが、全部で約70種類の多種多様な魚類を展示しています。カツオやマグロ類といった沖縄の食文化に欠かせない魚もたくさんいます。

沖縄美ら海水族館では最大となる、容量7500㎥の大水槽。正面の巨大アクリルパネルからはジンベエザメやマンタが泳ぐ姿が大パノラマで見られる。毎日３回行われる餌やりにも注目!

❸美ら海シアター

手が届きそうな距離でジンベエザメを観察する

「黒潮の海」水槽を違った角度から見られる穴場。シートに座りながらゆっくりと見られる。スクリーンのような観覧窓から見る水槽は、まさにシアターそのもの!

座席があるのでゆっくりと見られる

美ら海シアターは「黒潮の海」水槽のちょうど真ん中くらいの高さにあって、ジンベエザメがすぐ目の前を通るように設計されています。大水槽正面のアクリルパネルから見上げるよりも大きさが実感できます。

ジンベエザメと同じ目線で観察しよう

スタッフさんの裏話（ウラバナシ）

サメの人工子宮装置を用いた胎仔育成の取り組み

水族館が独自に開発した、世界初のサメの人工子宮装置。これは、サメ胎仔の救命を目的とし、サメの体液成分に近い人工羊水を満たした環境で、胎仔を出産まで育成する装置。2021年には、深海ザメのヒレタカフジクジラの出産に成功。育成中であれば「サメ博士の部屋」の人工子宮内で成長する胎仔を観察できることも。

飼育困難なサワラ類も展示

長距離の輸送が困難で展示ができなかったサワラ類を展示している。ダメージがつきやすいサワラの仲間を運ぶために重要なのは、スピードと道具。採集用の網などはなんと飼育員が手作りしているそう。水槽では、ヨコシマサワラの群れの日本唯一展示に成功。成長の過程を観察できる。

Staff Voice 「黒潮の海」水槽では、夜は照明を暗くしています。夜になると魚たちの泳ぐスピードがゆっくりになるんですよ。

1階 深海への旅

水族館1階にある「深海への旅」。ここには、水族館が採集・繁殖を行った生物がたくさん！ 新種や日本唯一の展示も多く、未知の世界が広がっている。

暗闇のなかに
水深200m以深の
深海を再現！

水深に合わせて水温や光を調節している

❶深層の海

光の少ない深海ですが、潮流はかなりのもの。生息環境を再現するために、人工的に水流を発生させています。これにより、ハマダイの長期飼育に成功しました。よく見ると水流に逆らって泳いでいるのがわかります。

高岡さん

水深 200m 以深の深海を再現した水槽。「深海への旅」エリアでは最も大きく、約 40 種の生物を展示している。水槽内にはそれまで飼育が困難とされてきたハマダイやハコエビの姿も。底の砂地付近には、水族館で繁殖に成功したノコギリザメも見られる。一見すると気がつかないが、水槽には魚の長期飼育を可能にした秘密がたくさん！ 向かいには深海で光る魚を集めた「海のプラネタリウム」コーナーもある。

深海の底、砂泥地などに生息するノコギリザメ

方言で「アカマチ」と呼ばれるハマダイ。食用としても美味で、沖縄三大高級魚のひとつ

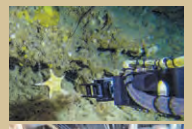
スタッフさんの裏話（ウラバナシ）

アームや吸引装置をリモコンで操縦して、生物を採集します

諸田さん

ROVでの採集から展示まで

ROV（小型の無人潜水艇）調査では、水深100～500mで深海生物を採集している。採集された生物は水族館に到着後、重力式加圧水槽という徐々に減圧できる水槽で1～2週間ほど飼育され、通常の水圧に慣れさせてから展示。「深海への旅」入口では、ガラス越しにROVの実物を見ることができる。



ハコエビの行動観察

添谷さんが研究発表を行った、ハコエビの行動観察。2020年にROVの調査でハコエビが砂地に穴を掘って隠れている様子が確認されたことをきっかけに開始。「深層の海」水槽には12の穴があり、実際に穴に入っている様子が見られる。添谷さんは水槽を観察しながら研究を続けている。

Staff Voice ROVでの採集は2008年からスタート。最初はヒトデやナマコなど無脊椎動物の採集がメインでしたが、現在では魚類の採集も可能になりました。技術や経験の積み重ねにより生存率も上昇。

私たちが解説します！

高岡 博子さん
おもに深層の海を担当。サンゴ礁などの担当を経て、深海へ。以来、深海ならではの「未知」の魅力にハマっている。

馬場 雄一郎さん
深海の小さな生物を担当。「深海への旅」で注目して欲しいのは小さくて目立たないけど、とても貴重な生物とその生態。

添谷 怜花さん
水族館に勤めてまだ年は浅いものの、2025年にハコエビの行動観察に関しての研究発表を行った。深海エリア期待のホープ。

諸田 大海さん
ROVを巧みに操縦し、深海に生息する未知の生物を採集するパイオニア。ちなみに、ROVで一番最初に採集したのはヒメソコホウボウ。

❷深海の小さな生物

深海に生息する不思議な生物たち

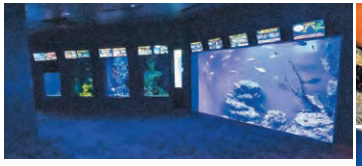
壁際に並べられた小さな水槽で、新種や初記録種をはじめとした希少生物を展示している。見たことのない生物も多いので、水槽の上にある解説パネルでチェックしてみて。

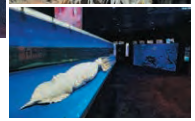
左上／水族館生まれのコトクラゲ
左下／カイロウドウケツの胃腔内に生息するドウケツエビ 右上／国内では２例目に確認されたケブカミズヒキガニ

馬場さん

イバライソメやコトクラゲなど、不思議な深海の生物を展示しています。ROVの採集により次々と新しい生物が登場するので、いつでも新発見が得られます。

❸深海への旅 個水槽





上／「深海への旅」の個水槽を覗いてみよう
右上／沖縄美ら海水族館が2019年に新種として発表したチュラウミカワリギンチャク 右下／巨大なダイオウイカの標本もある

小さな水槽に広がる切り取られた深海

中型の個水槽で、水深 200m 以深の生息域を再現しているコーナーが「深海への旅」の個水槽。全部で５つの水槽が並んでおり、それぞれ貴重な生物を多数展示している。

展示水槽は生物それぞれの生息環境に合わせた造りになっています。採集時にROVのカメラに写った風景を参考にして、飼育員が独自に造ります。水温も生息域に合わせたものになっています。

添谷さん

1階 琉球弧の水辺

「深海への旅」を抜け、出口のゲートを通った先にある。沖縄の島々に生息する淡水魚やカメ、カエル、カタツムリなどの身近な生物を展示している。沖縄の固有種も多い。

上／沖縄の渓流を再現している
下／天然記念物でもあるリュウキュウヤマガメ

スタッフさんの裏話（ウラバナシ）

環境省と協力して種の保存に取り組んでいます

琉球弧の水辺 担当
伊藝 元さん

マイマイの生息域外保全、繁殖

沖縄本島南部に固有のアマノヤマタカマイマイ、北大東島固有のヘソアキアツマイマイ、南大東島固有のオオアガリマイマイと３種類のマイマイを展示。いずれも環境省のレッドリストで、絶滅の可能性が極めて高い種となっている。

Staff Voice コトクラゲは、繁殖個体の長期飼育に成功しています。成熟に要する年数や繁殖個体の色彩変異などの研究を進めていきます。

水族館の秘密がかいま見えるツアー
裏側まるごとウォッチング

スタッフしか入れない、水族館の裏側に潜入！ 解説員さんと一緒なので、生物に関する詳細なガイドを聞くこともできる。ツアーは1日4回催行しており、要事前予約。詳細は公式ウェブサイトにて。

解説員
比嘉 明日香さん

「熱帯魚の海」で魚に餌やり

「熱帯魚の海」水槽の上に行って、熱帯魚やサンゴを観察。カラフルな魚たちへの餌やりも体験できる。

スタッフ専用入口から観覧面の裏側へ！

「イノーの生き物たち」水槽のそばで待ち合わせ、解説員さんと水族館の裏側へ！ どんな景色が広がっているのか、ワクワク！

飼育員さんの普段の仕事をちょこっと拝見

お次は魚たちの餌を準備する部屋へ。餌の魚を次々と捌き、大量のオキアミを手際よく用意する様子はまさに職人業！ なお、午後だと見られない場合も。

「黒潮の海」水槽へ潜入調査

「黒潮の海」水槽へ。ジンベエザメやマンタは、水上から見ても大迫力！ 周辺には水族館で繁殖した個体や展示前の生物の水槽もある。

最後は深海エリアで驚きの採集法を知る

最後は深海生物を採集するROV（小型の無人潜水艇）の置かれている深海のバックヤードへ。実物のROVを間近に見て、採集方法の解説もしてもらえる。重力式加圧水槽の解説を聞き、深海に棲むオオグソクムシを真近で観察して、ツアーは終了。

「黒潮の海」を真上から見る黒潮探検へGO！

「黒潮の海」水槽を4階の水槽上部から観察できる人気のコース。詳細は公式ウェブサイトにて（予約不要、時間制限あり）。ジンベエザメやマンタなどの大型生物も見られる。

Staff Voice 大型生物や海獣類は、1日の餌の量を厳密に管理しています。ジンベエザメのジンタは、多いときで1日約30kgもの餌を食べます。季節により量の調整もしていて、夏は冬の2倍近くになります。

飼育員さんに直撃！

教えて！あなたの推しFISH

インタビューさせてもらった水族館勤務の飼育員さんたちに、水族館で展示している、お気に入りの海洋生物を挙げてもらいました！

★チョウチョウウオ
★カイメン
★ハコエビ

昔からチョウチョウウオが大好き。カラフルでかわいいです。もちろん海藻も！

東地 拓生さん

★ミズタマサンゴ
★デバスズメダイ

自身で配置したサンゴと、そこに暮らす熱帯魚の群れる風景にときめきます

永田 史彦さん

★ハリセンボン
★タビオカウツボ
★タイマイ

2022年に新発見されたタビオカウツボ。名前の由来は見た目通りなのが◎

永田 真由さん

★コブシメ
★ヒメイカ

ラブリーなコブシメに首ったけ！ コロコロと色が変わるので目が離せない！

榎 南都子さん

★スジアラ
★コクハンアラ
★ヒブダイ

趣味である釣りのターゲットでもあるブダイ。なかでもヒブダイがいち推し！

和仁屋 樹さん

★クロウミウマ
★カイカムリ
★テングハギ

担当させてもらっているサンゴ礁の魚に惹かれます。沖縄っぽさはピカイチ

高瀬 爽さん

★シノノメサカタザメ
★イソマグロ
★ヒョウモンオトメエイ

黒潮を悠然と泳ぐ魚やエイが好きです。かっこよくて、なおかつ美しい！

岡本 情さん

★ノコギリザメ
★ヨゴレアオダイ
★ハマダイ

深海に生息する魚の不思議さにどハマり中です。迷いますけど、この3種！

高岡 博子さん

★イバライソメ
★フクロアシナマコ
★ケブカミズヒキガニ

小さくて、見逃してしまいそうでも私だけ魅力に気がついているのかも

馬場 雄一郎さん

★ヤマブキハタ
★オニキホウボウ
★オオアカムツ

ROVを操縦して、自分で採集した深海の生物はどれも愛着がありますね～

諸田 大海さん

★イバライソメ
★テッポウエビの一種
★ハコエビ

無脊椎系の生物に惹かれますね。未知の部分が多くて、ロマンを感じます

添谷 怜花さん

★アカウミガメ
★ミナミバンドウイルカ
★クロイワトカゲモドキ

ウミガメはみんな大好きだけど、アカウミガメに一票入れちゃいます！

荻野 寧々さん

★ミナミバンドウイルカ
★バンドウイルカ
★ジンベエザメ

もちろんオキちゃん！ 沖縄の観光振興のシンボル的な存在ですからね！

比嘉 克さん

★オキゴンドウ
★バンドウイルカ
★ミナミバンドウイルカ

水族館の飼育員を夢見たのは、オキゴンドウに出会ってからなんです

植村 美波さん

★マナティー
★オキゴンドウ
★バンドウイルカ

イルカも好きだけど、やっぱりマナティーよね。キュウかわいすぎ！

真壁 正江さん

Staff Voice スマートフォン等端末のカメラを水槽の生物にかざすだけで、瞬時に生物名と解説が表示される沖縄美ら海水族館公式アプリの「かざすAI図鑑」機能でぜひ自分の推しFISH情報を探してみてください！

屋外展示

沖縄美ら海水族館の屋外には、イルカやウミガメ、マナティーの飼育施設がある。どれも無料で見学できるのがうれしい。

私たちが解説します！

植村 美波さん

子供の頃からオキゴンドウが好きで、夢を叶えイルカのトレーナーに。ゴンちゃんとイルカショーにも出演。

荻野 寧々さん

ウミガメ館の担当。沖縄の自然が大好きで、沖縄美ら海水族館で働くのが目標だったそう。

真壁 正江さん

マナティー館担当。勤続30年以上のベテランで、自ら人工保育で育てたキュウにぞっこん♡

比嘉 克さん

イルカ担当。長年にわたりオキちゃんをはじめとしたイルカたちを見続け、多数の研究や発表を行っている。

オキゴンドウのゴンちゃんも登場！

息を合わせてジャーンプ！
無料のイルカショー

イルカたちが一斉にジャンプする様子はダイナミック！

❶オキちゃん劇場

イルカのなかでも、最大のスターはやっぱりオキちゃん。「何代目?」ってよく聞かれますけど、いつも答えは同じ。「初代です」。2025年5月で飼育50年！ほぼ皆勤賞でステージを盛り上げています！

植村さん

ミナミバンドウイルカ、バンドウイルカ、オキゴンドウ、シワハイルカの4種を飼育しており、イルカショーを開催している。優れた身体能力を活かしたジャンプやターン、沖縄の文化や方言を取り入れたショーは、驚きと笑いがたくさん！開催は1日5回で、所要時間は約15分。ショーの後にはイルカとの撮影タイム（有料）も開催される。

ミナミバンドウイルカの世界最長飼育記録を持つオキちゃん

Staff Voice 身体をよく動かすイルカショーは、イルカにとっても健康を維持するための大切な時間。ショーに出ていないイルカも、給餌の時間にはさまざまな訓練に挑戦し運動しています。

❷ウミガメ館

ウミガメの繁殖・保護のベースとなる施設

アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ、ヒメウミガメ、クロウミガメを飼育。プール横には産卵用の砂浜も。生まれた仔ガメは約1年間の飼育後、調査のため標識放流する。

餌やりの時間

水槽の上から、地階の観覧室では横からと、異なる視点からウミガメが見られる

荻野さん

毎年繁殖に成功していて、アカウミガメとタイマイは3世代目が生まれています。2023年にはウミガメの繁殖研究活動が古賀賞を受賞しました。

2021年6月に生まれたキュウは日々成長中

1990年に繁殖賞を受賞。2001年にユマが誕生、キュウは3例目の成功。

両手で野菜を持って食べる姿は文句なしの可愛さですが、じゃれあったり、キスのあいさつをしたり…仲の良いマナティーたちの様子は見ているだけで癒されますよ。是非それぞれの個性も見つけてみてくださいね。時には小さな鳴き声が聞こえることも！

真壁さん

❸マナティー館

日本では唯一となるアメリカマナティーの繁殖

国内では飼育例の少ないマナティーは、メキシコ政府からの寄贈。その後3例の繁殖に成功し、現在4頭のうちユマ、キュウの2頭が繁殖個体。国内でのマナティー繁殖成功は沖縄美ら海水族館だけ。

❹イルカラグーン

劇場横のプールでイルカたちと触れ合える

オキちゃん劇場の横にある。飼育されているイルカたちを間近に観察でき、時間限定でイルカへの餌やり体験（有料）も行っている。

イルカへの餌やりですが、実はあげる餌は綿密に管理しています。個体によって1日にあげる量が決まっていて、それぞれ好きな種類も違うんですよ。

比嘉さん

オキちゃん劇場でオキちゃんと記念撮影！

スタッフさんの裏話

マナティー体験学習

マナティーの生態観察や餌やり体験ができるプログラム。小さくて真ん丸な瞳や様々な表情をつくるやわらかな口元、目の前でむしゃむしゃと音を立てて食べる仕草もとってもかわいい！金・土・日・祝日開催（1回/日）（事前予約制）

イルカの健康管理

健康管理のため、水族館のイルカたちは毎朝の体温測定に加えて月1回を目安に血液検査と体重測定を行っている。最大2トンまで測ることができる体重計を利用。オキちゃん劇場のイルカショーで活躍するオキゴンドウの「ゴンちゃん」の体重はなんと約600kg!

プレミアムイルカ飼育体験

水族館では、2種類のイルカ体験プログラムを開催。なかでもプレミアムイルカ飼育体験は、餌やりやふれあい記念撮影のほかトレーナーさんと一緒にショーのトレーニングもできちゃう！トレーニング後にはミニイルカショーに出てジャンプの指示出しも。日曜のみ1日1回開催（事前予約制）。

Staff Voice 水族館では、ケガで漂着したウミガメ等の保護も行っていて、治療を行い経過観察、健康状態回復ののち調査のため標識放流しています。

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium

Churaumi Times
沖縄美ら海水族館の普及啓発活動・研究活動

教育普及プログラム

教育や福祉の現場でも水族館は活躍しています！

沖縄美ら海水族館では、学校、医療機関、福祉施設向けのプログラムにも力を入れている。プログラムはすべて無料だが、事前申し込みが必要で、個人からの申し込みは不可。

医療機関・福祉施設向け

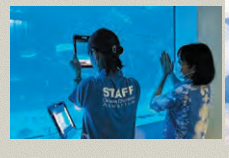
ふれあい水族館

ふれあい水族館は、普段は水族館の展示生物の輸送に使用している活魚運搬車輌（通称「活魚車」）で病院や老人福祉施設を訪問し、水族館に来館できない人に魚の展示を行うプログラム。20年以上続く人気プログラムで、たくさんの人が来場している。

病院および特別支援学校向け

遠隔授業

入院中の子どもや特別支援学校向けに、水族館スタッフがオンラインで海洋生物についての授業を行う。2020年、コロナ禍に人との接触が制限されたなかで「新たな楽しみ方を!」と開始された。日本国内に留まらず、海外向けにも定期的に開催している。



視覚特別支援学校向け

触察プログラム

目の見えない子どもにも水族館を楽しんでもらいたいという思いから、海の生き物に触れて学ぶ「触察」プログラムをスタート。生きたナマコやヒトデ、魚やサメの標本に触れながら、海の生き物について楽しく学ぶことができる。全国の盲学校が本プログラムを利用している。

保育園・幼稚園・小学校向け

紙芝居読み聞かせ

沖縄美ら海水族館お手製の紙芝居を用いた、海洋生物に関する読み聞かせ。全国の保育園・幼稚園、小学校やその関連施設で行っている。海洋生物の塗り絵なども体験できる。県外施設へはオンラインにて対応可能。

Staff Voice　人工の尾ビレをつけてショーに出たことで話題だったバンドウイルカのフジ。フジの実話を基にした映画『ドルフィンブルー フジ、もういちど宙（そら）へ』も制作されました。

沖縄美ら海水族館☆ナイトガイドツアー

閉館後の水族館内を解説員と探検！ 静まり返った館内は、いつもとはまったく違う雰囲気に。館内を見学したあとは、屋外展示のウミガメ館へ。水族館で生まれた1歳の仔ガメを調査のために標識放流。一生懸命に海へと向かう様子が胸を打つ。（一般向けプログラム）

こども飼育体験

解説員と一緒に水族館のバックヤードを回り、飼育員の普段の仕事についての解説が聞ける。また魚たちの餌の準備も体験。ここから、未来の飼育員が生まれるかも!? 詳細は公式ウェブサイトで要確認。（一般向けプログラム）

※沖縄美ら海水族館☆ナイトガイドツアー、こども飼育体験については季節限定のプログラムです。公式サイトに情報を掲載していない時期がありますのでご了承ください。

in the World

ガラパゴス諸島での国際共同研究調査

沖縄美ら海水族館では、ジンベエザメの保全に向けて飼育下繁殖を目指している。ガラパゴス諸島は、世界で唯一、大人のメスばかりが回遊してくる場所として知られている。そこでは妊娠の可能性の高いジンベエザメが見つかっており、採血や水中エコー診断などを行うことで繁殖に関わる重要な手がかりを得るための研究を続けている。

世界一の治療を目指す 沖縄美ら海水族館の動物健康管理室

沖縄美ら海水族館には動物健康管理室という獣医療チームがある。ここは水族館で飼育している生き物の健康を維持し、時には検査や治療を行う「水族館の病院」だ。イルカなどの海獣類からジンベエザメのような大型魚類、熱帯魚までの多種多様な生物を飼育員とともに協力しながら命を守るために働いている。日頃からこまめに体調チェックを行い、普段と異なる様子がみられたり、ケガをした個体がいたら検査や治療を行う。ときには水族館の外にある研究棟まで搬送し、動物用のCT検査機器で精密な画像診断をすることもある。

これまで行った検査や治療データは研究にも活かされ、水族館の生物の健康管理へと還元される。獣医師や動物看護師、アシスタントスタッフ、さらには研究者や飼育員までもが一体となって「世界一の治療」を目指し日夜奮闘している。

Staff Voice　海洋生物を陸にあげての治療は、スピードが命！ 動物健康管理室では飼育員さんの協力のもと陸にあげる時間を短縮し、かつ正確な治療を行うことに努めています。

お得がいっぱい！

沖縄美ら海水族館の年間パスポート

「で一じお得！」とウワサの、沖縄美ら海水族館の年間パスポート。いったいどのくらいお得なのか、値段や特典を徹底比較！ 水族館での簡単な取得方法もナビゲート。

	入館券	年間パスポート
大人	2180円 →	4360円
高校生	1440円 →	2880円
小・中学生	710円 →	1420円

わずか2回の入館で元が取れる！

さらにこんな特典も！

特典1
海洋博公園内店舗が5%割引
パスを提示すれば、海洋博公園内にあるショップやレストランが割引に。おみやげにも使える。
※キッチンカーは除く

特典2
園内遊覧車が無料！
広ーい海洋博公園内は、遊覧車で移動するのが便利。通常は500円だけど、年パス保有者は無料！

特典3
熱帯ドリームセンターが半額！
海洋博公園内の人気スポット、熱帯ドリームセンター。年パスの保有者は入館料が半額になる。

さらにこんな特典も！
年間パスポートを1回でも更新すれば、特典がパワーアップ！
❶ 店舗割引が5%➡10%に！
❷ 毎月3名にオリジナルグッズが当たる！
❸ 2000円分の「美ら海クーポン」を毎月30名にプレゼント！

年間パスポートの作り方

STEP 1
会員情報を登録
水族館入口にある年間パスポート申請パネルで、必要事項（氏名・生年月日・性別・住所など）を入力、「申請レシート」を受け取る。

STEP 2
券売所で支払い
申請パネルから出力された「申請レシート」を持って、水族館の券売所へ。窓口のスタッフに年間パスポートの料金を支払う。

STEP 3
パスポート受付へ
年間パスポート受付カウンターへ行き、スタッフに「申請レシート」を提出する。その後パスポートに使用する顔写真の撮影を行う。

STEP 4
パスポート受け取り
すべての手続きは終了！ スタッフがカードを作ってくれるので、受付カウンターでしばし待つ。受け取ったら入口スタッフに見せて入館。

ジンベエザメやマンタの前で永遠の愛を誓う

沖縄美ら海ウェディング

水槽の前で愛を誓い、ビーチでフォトセッション。
水族館好きならたまらない、とっておきの結婚式を挙げてみませんか？

「沖縄美ら海ウェディング」では、水族館の閉館後にジンベエザメのいる大水槽前を貸し切ることができるほか、エメラルドビーチでは美しい夕陽を眺めながらのサンセットフォト、熱帯ドリームセンターでは色とりどりの花々に囲まれたロケーションで他にはない2人だけのフォトウェディングを行うことができる。詳細は右のQRコードにて。

沖縄美ら海ウェディング

OKINAWA-CHURAUMI-2025-SP-ED
OKI 50YERAS, JINTA 30YERAS

OKINAWA CHURAUMI AQUARIUM

定価：PRICELESS
（本体０円＋税０%）

ESTABLISHED IN 2002

＼ 那覇・国際通りでも買える！ ／

沖縄美ら海水族館公式アンテナショップ

うみちゅらら
umichurara

ACCESS：沖縄都市モノレール（ゆいレール）の「県庁前駅」から徒歩３分。
国際通り沿いの「わしたショップ国際通り店」の２階。

うみちゅらら
Instagram

＼ ドコにいても買える！ ／

沖縄美ら海水族館公式オンラインショップ

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium
×
首里城公園
SHURIJO CASTLE PARK
公式オンライン

公式オンライン
ショップ

YAHOO！
ストア

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium

発　行：一般財団法人 沖縄美ら島財団
制　作：地球の歩き方、グルーポ・ピコ
写　真：国営沖縄記念公園（海洋博公園）：沖縄美ら海水族館、グルーポ・ピコ（武居台三）
イラスト：赤江橋洋子

※本誌に掲載した記事やデータは 2025 年１月時点のものです。発行後に料金・営業時間・定休日などが変更になる場合がありますのでご了承ください。※掲載価格はすべて税込みです。
本書の無断転載、複製、複写（コピー）、翻訳を禁じます。 本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化をすることは、たとえ個人や家庭内の利用であっても著作権上、認められておりません。